

【『働き方改革』セミナー】

企業にとっての『働き方改革』の本質は

①

労働力の確保編



目次

- 働き方改革関連法案
- 今後の日本の労働人口
- 2100年の日本は・・・
- 働き方改革を改めて理解する
- 労働力の確保
- 既存社員の離職防止
- 既存社員の離職防止の成功事例
- 2018年4月に新規導入 【新・働き方人事制度】
- 未活用人材の活用
- テレワーク
- テレワーク <参考事例>
- 採用の促進・強化
- 【まとめ】労働力の確保

- 2018年6月に“すったもんだの末”可決・成立
- 2019年4月1日より順次施行
- 「一億総活躍社会の実現」のための改革の一つ
- 多様な働き方を認め、労働制度の抜本的な改革によって、経済の成長と分配の好循環を生み出す

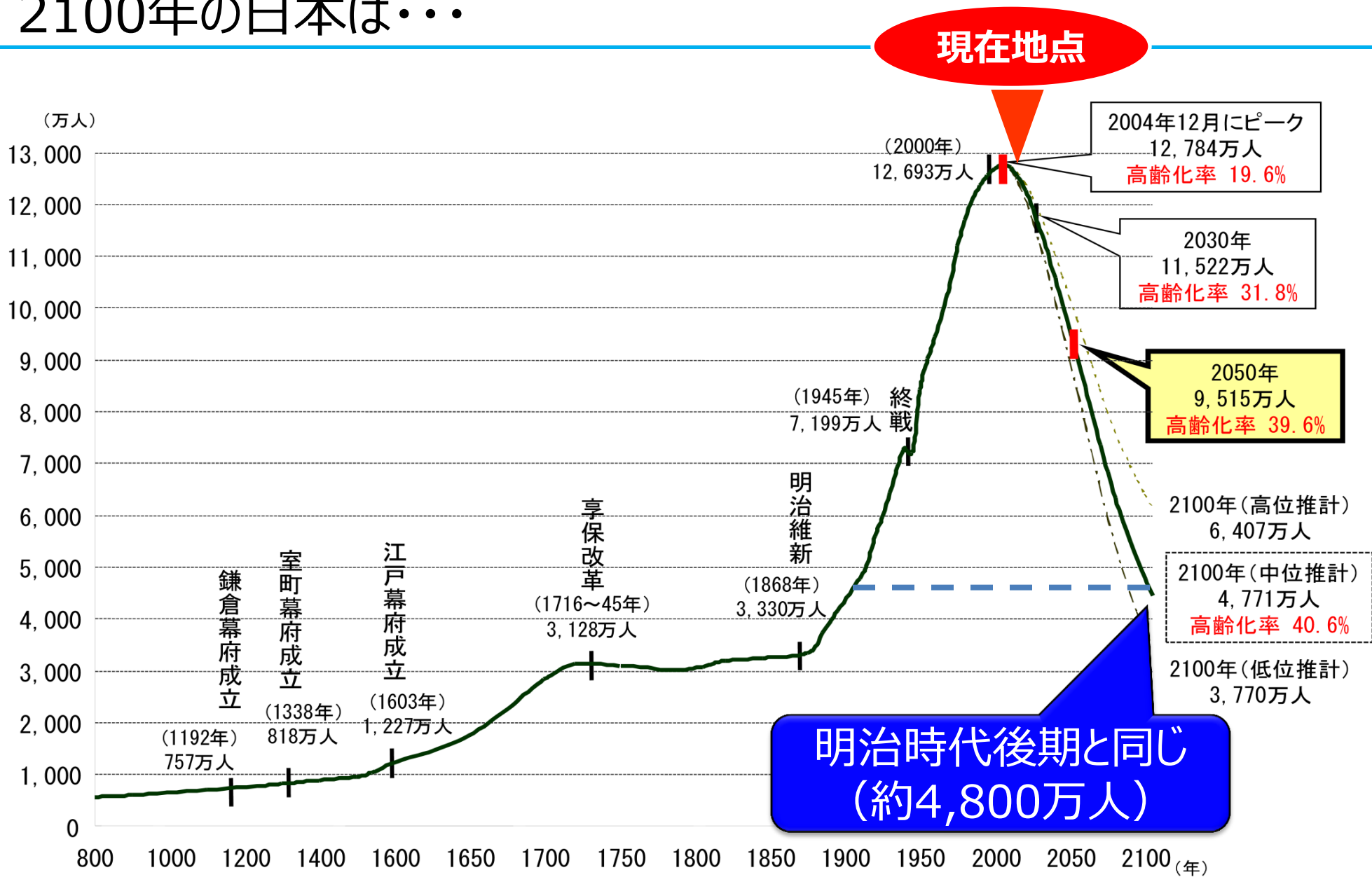
【働き方改革の背景】

- 労働人口の減少
- 長時間労働の削減
- 労働生産性の低迷

2100年の日本の人口は何人に？
(2016年末時点：約1億2,700万人です)

- ①：約8,000万 (約37%減)
- ②：約6,000万 (約50%減)
- ③：5,000万人以下 (約60%以上減)

2100年の日本は・・・



出典：「国土の長期展望」中間とりまとめ 概要（平成23年2月21日総務省 国土審議会長期展望委員会）

働き方改革の真の目的とは？

生産年齢人口の減少・**労働力**不足を解決すること



①

労働力の確保
(減らさない&増やす)



②

生産性の向上
(ムダ減少、コア業務注力)

